

平成 29 年度 最上地域観光協議会

# 研修会のご案内

## (温泉地等受入態勢整備支援研修会)

参加無料

温泉地・宿泊施設（旅館・ホテル）、その他観光従事者等対象

★「新庄まつりの山車行事」ユネスコ無形文化遺産登録

この機会を、皆さんのビジネスにつなげてみませんか！

研修では、紅花と並び江戸時代の山形県の3大収入の一つ、出羽三山信仰を紐解きながら、最上地域の観光における受入態勢整備の課題について考えます。

<講師> 羽黒山伏/日知舎（ひじりしゃ）

成瀬 正憲 氏

1980 年生まれ、岐阜県中津川市出身。山伏。2009 年山形に移住。羽黒町観光協会職員として「出羽三山精進料理プロジェクト」を立ち上げる。2013 年に独立し「日知舎」設立。聞き書きをベースにした地域文化のフィールドワークから山の産物や手仕事の流通、商品開発などを行うほか、「アトツギ編集室」のメンバーとしても活動し、ヤマノモノの採集から保存食づくりまでを体験する「森の晚餐」などを企画運営している。コミュニティービジネスやソーシャルビジネスの第一線で活躍するコンサルタントでありプロのファシリテーター。専門領域は地域活性、オープンデータの利活用、農商工連携など多岐にわたる。

<講師> 最上国際湯治研究会代表/最上の元氣研究所事務局長

押切 珠喜 氏

1960 年生まれ、大阪府出身。1988 年に最上町に移住。2 度の火災で焼失し 15 年間廃業していた旅館跡に移り住み、再建。自給自足を基本とした温泉宿“ひやま山荘”を開業。1992 年、温泉宿と共に企画制作会社 湯治舎を設立。観光に関するノウハウを活かし、イベントやCMの企画制作/コーディネートを展開。2011 年、東日本大震災直後から石巻市沢田地区に拠点を設置し、VC（ボランティアセンターを支援する会）を結成。石巻、牡鹿半島、女川、金華山を中心に復興支援活動を展開。風の旅行社主催の金華山ボランティアツアーでは、コーディネータを務めている。

☆日 時 6月15日(木) 13:30~15:30

☆場 所 山形県立農林大学校 研修施設 「緑風館」  
(新庄市大字角沢 1366 電話番号:0233-22-1527)

☆対 象 最上地域の温泉地で旅館、ホテルの経営に従事されている方、その他観光事業に携わる方(ガイドボランティアの方など) 35名程度

☆参加費 無料

☆申込締切 6月9日(金)

☆申込方法 電話またはFAXでお申し込みください

<お問い合わせ>

最上地域観光協議会(山形県最上総合支庁 観光振興室 小野寺)

TEL:0233-29-1311 FAX 0233-23-2628

⇒⇒⇒ 申込は裏面をご覧ください。

# 参加申込書

○ 電話の場合 0233-29-1309  
山形県最上総合支庁 観光振興室 小野寺 まで

FAXの場合

0233-23-2628

氏名	
所属 (旅館、ホテル名、所属団体等)	
連絡先(電話番号)	
メールアドレス	

**6月9日(金)までにお申し込みください。**

◎個人情報の取扱いについて/ご記入いただいた内容は、当該研修の運営のために利用し、第三者に提供することはありません。

主催：最上地域観光協議会

【構成団体】山形県最上総合支庁、新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、  
鮭川村、戸沢村 外 団体、企業 50会員